

## I 研究主題

# 主体的に学習に取り組む生徒の育成

～ 効果的な学びの過程の実現を目指して ～

## II 研究の内容と具体的方法

### 1 具体的内容

#### (1) 効果的な学びの過程を重視した学習活動

ア アクティブ・ラーニングを意識した継続的な授業実践

イ 理論研究・実践・検証

#### (2) 言語活動の充実

ア N I E の効果的な実践

イ 日常的な取り組みの共有

#### (3) 望ましい学習集団づくり

ア Q-U の分析と結果を活用した取組

イ 保護者や地域との連携

### 2 研究の方法

#### (1) 講師を招いての学習会

#### (2) 授業研究会 (2回)

#### (3) 一人一実践授業の提供

## III 成果と課題

### 1 成果

○教育課題が複雑化、困難化している昨今、国や県の動向から地域及び本校の学習課題を考慮する中で、次世代の学校として対応していくべく研究テーマを設定でき、それに向けて研究を進めることができたと思う。

○アクティブ・ラーニングについての理解を深めることができた。また、授業の中にも意図的にその学習プロセスを取り入れて、実践することができた。

○実践も大事だが、理論研究を同時にすることができてよかった。

○一人一実践で授業を参観し合う活動は自身の授業の質を高める上でも、有効な活動になったと思う。

○お互いの授業を見合うことができて、他教科の様子が分かり、とても勉強になり刺激を受けた。

○授業を見せ合うことでアクティブ・ラーニングを意識した継続的な授業実践が行えたと思う。

- NIEコーナーの設置により、多くの生徒が新聞に興味を持って触れていた。
- 1学年の新聞を切り抜く取り組みは、大変だが継続することにより効果的なNIE実践になると感じる。
- 新聞のような活字文章にふれることは、今すぐにではなくても、それぞれの人の考え方をつくっていけると思うので、教室でもいろいろな記事を紹介できるようにしたいと感じている。
- QUアンケートは2回実施することで、生徒の変容やクラスづくりの成果と課題がわかった。
- 生徒をじっくり見つめ直すことができるのでQ-Uアンケートは年2回の実施を継続していきたい。
- アクティブ・ラーニングについて年度当初はほとんど何もわかっていない状況だったので、学習会を企画してもらい大変ありがたかった。
- 学習会では講師の先生方の読み解く視点が大変参考になった。
- 研究テーマを十分に意識した授業実践をすることができた。特に、iPadを活用して表現力を伸ばしたり、ロールプレイングで楽しく学習に取り組みせたり、主体的な学びの過程を意識した授業だったので、とても良かった。
- 授業研究会は、他教科であっても、実践を見せてもらおうと大変勉強になり有意義であった。
- iPadを使った授業研究をすることで、その有効性を知ることができた。

## 2 課題

- 新聞を授業の中になかなか取り入れることができなかった。
- H-QUについては、更に効果的な活用ができるよう考えていきたい。
- 家庭学習について保護者にも学習することの目的や、意義をもっと理解してもらえるように学校としてもはたらきかけていきたい。
- 研究授業の内容はよかったが、5.6月に1本と9.10月に1本くらいに設定できると研究の余裕もうまれさらに良かった。
- 一人一実践の授業提供に関しては、1学期から1年間を見通す中で実施すれば、先生方にも余裕があってじっくりと研究することができた。
- 2回の理論学習会の実施はよかったが、自分自身理論を実践に生かすことができたかという物足りないところがあった。今後も理論研究と実践を両輪で進めていきたい。

## IV 成果物

英語科指導案，体育科指導案，一人一実践，H-QU分析結果，定期試験取組表，NIEコーナー設置，各学年の家庭学習の取組

(研究主任 三枝洋介)